JIS Q 17050-1に基づく自己適合宣言書(附属書)

作成:2021年 9月 6日
改訂:2024年 4月 2日
株式会社LIXIL

■本附属書は、自己適合宣言書(文書番号:LXEC-2102)と合わせて、ご利用ください。
■本附属書に掲載されている熱貫流率は、省エネルギー基準、ZEB、ZEH等の計算にご使用できます。

附属書番号	LBS003
適合商品	PRESEA-H [一般・大臣認定防火設備(個別認定)]
適合品種	たてすべり出し窓、突出し窓、かまちドア、開き窓テラス

開口部の熱貫流率:U[W/(㎡K)]				使用するガラスの中央部熱貫流率:Ug [W/(㎡K)]	性能根拠	
住宅・非住宅	住宅					
付属部材なし	シャッター・雨戸付	和障子付	風除室あり		試験値	計算値
1.85	1.71	1.62	1.56	1.1以下	○	
1.98	1.82	1.72	1.65	1.2		○
2.06	1.88	1.78	1.71	1.3		○
2.14	1.95	1.84	1.76	1.4		○
2.22	2.02	1.90	1.82	1.5		○
2.25	2.04	1.93	1.84	1.6	○	
2.38	2.15	2.02	1.92	1.7		○
2.46	2.22	2.08	1.97	1.8		○
2.54	2.28	2.14	2.03	1.9		○
2.62	2.35	2.20	2.08	2.0		○
2.70	2.41	2.26	2.13	2.1		○
2.79	2.49	2.32	2.18	2.2		○
2.84	2.53	2.36	2.21	2.3以上2.9以下	○	
3.37	2.95	2.73	2.52	3.0		○
3.45	3.01	2.79	2.57	3.1		○
3.53	3.07	2.84	2.61	3.2		○
3.61	3.13	2.90	2.65	3.3		○
3.69	3.19	2.95	2.70	3.4		○
3.78	3.26	3.01	2.74	3.5		○
3.86	3.32	3.07	2.78	3.6		○
3.94	3.38	3.12	2.83	3.7		○

＜解説 ＞

- 試験値は、JIS A 4710に基づく代表試験体の熱貫流率です。
- 計算値は、JIS A 2102に基づき計算した代表試験体の熱貫流率、または国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「枠の種類とガラスの仕様に応じた窓の熱貫流率の計算式」に基づく熱貫流率です。
- 代表試験体は、国立研究開発法人 建築研究所ホームページ内「平成28年省エネルギー基準に準拠したエネルギー消費性能の評価に関する技術情報」の「窓・ドアの熱貫流率に関し試験体と同等の性能を有すると認められる評価品の範囲を定める基準」で定められています。
- 熱貫流率が異なる窓を連窓または段窓する場合、連窓方立または段窓無目の中心部を境に別の窓と捉える事、開口図全体を一つの窓と捉える事、いずれの対応も可能です。開口部全体を一つの窓と捉える場合は、熱貫流率が大きい窓の値をご使用ください。
- 一つの窓内において、熱貫流率が異なる複数のガラスを使用する場合、ガラス中央部の熱貫流率が大きいガラスで評価してください。